



愛川ふれあいの村6月の風景

平成25年 6月 自然のたより

早い梅雨入りをしましたが、中旬まではあまり雨が降りませんでした。雨が降ると雨粒を受けた青葉がキラキラ輝いています。春に花を咲かせたスモモやサクラは実をつけ、昆虫や鳥がその実をおいしそうに食べています。鳥の子育ては巣立ちの準備に入り、親子で飛んでいる姿が見られるようになりました。



ツバメの親子



青いアジサイ



大人の人差し指サイズのナメクジ



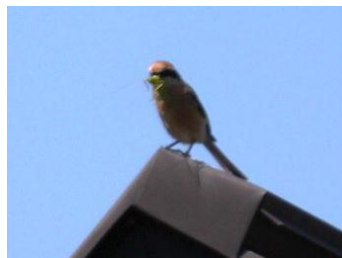
スズメの飛行訓練



シジュウカラのヒナ



虫を啜っているキビタキ



子育て中のモズ



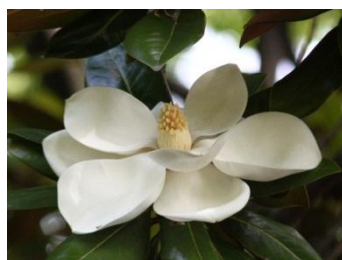
漢方薬にもなるドクダミ



いい匂いのヤマユリ



豪華なクリの花



タイサンボクの大きな花



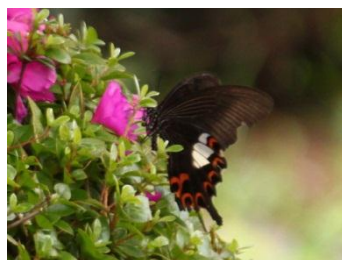
ラミーカミキリ



テントウムシの幼虫と
アブラムシ



アリのようなクモ
アリグモ



モンキアゲハ

★ツバメの子育て★

ツバメのヒナは飛ぶために猛特訓中！親鳥も大忙しです。

先日、村のツバメが飛行訓練をしていました。この写真は親鳥がヒナにエサを与えている様子です。燕尾（しっぽ）が短く、ふわふわしている方がヒナ、大きく羽を広げているのが親鳥です。大きな声でアピールをしているヒナにエサを食べさせている親鳥は忙しそうに飛び回っていました。2週間後には自立して、自分でエサを取るようになります。

訓練中、落ちてしまうヒナもいますが、近くに親鳥が居ます。私たちは、ヒナの様子を静かに見守りましょう。



★昆虫と植物の共存★

村のウメの木の枝を這うアリがいます。そのアリは枝にいる白くて小さな昆虫、アブラムシの甘い蜜をもらいにやってきます。アブラムシは、アリに甘い蜜を与える代わりに外敵から身を守ってもらっています。

アブラムシの外敵とは、腹にオレンジの模様のあるテントウムシの幼虫。このテントウムシはアブラムシを食べています。お腹いっぱいになると、蛹になり、約1週間後には羽化をして成虫になります。

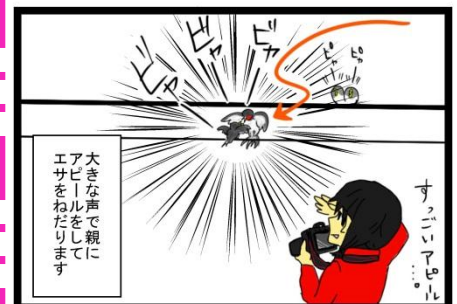
アブラムシはウメの木の樹液を吸い、ウメの木を弱らせます。そうすると、実を付けてくれなくなってしまいます。こうして、昆虫（アリ、アブラムシ、テントウムシ）と植物（ウメ）は共存しています。そして、ウメの実を食べる人間は、そんな自然の恩恵を受けています。



▲ウメの木にいるアブラムシ



▲テントウムシの羽化(6月中旬)



発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611

HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・葉青芳

文章・イラスト：葉青芳

編集：葉青芳・加藤文昭

愛川ふれあいの村 で検索★

